

## 《OPERA鑑賞会 第5回》

ウィーン国立歌劇場大みそか公演 指揮ウエルザー・メスト

# ヨハン・シュトラウス 喜歌劇「こうもり」

### 配役

アイゼンシュタイン：クルト・シュトライト  
ロザリンデ：ミカエラ・カウネ  
アデーレ：ダニエラ・ファリー  
フランク：アルフレート・シュラメク  
オルロフスキー：ゾリャーナ・クシュプラー  
アルフレート：ライナー・トロスト  
ファルケ：マルクス・アイヒェ  
フロッシュ：ペーター・シモニシェク



初演当時のポスター

演出：オットー・シェンク

バレエ：ウィーン国立歌劇場バレエ団

合唱：ウィーン国立歌劇場合唱団

管弦楽：ウィーン国立歌劇場管弦楽団

2011年12月31日、ウィーン国立歌劇場での収録

### 解説 (ポイント)

#### 【1】年末年始の定番！

このJ. シュトラウスの『こうもり』は、「オペレッタ」というジャンルに属します。オペレッタは、オペラから「笑い」の要素を強調して派生したもので、「喜歌劇」と呼ばれています。オペレッタは軽いと思われがちで、一流歌劇場では上演されませんが、この『こうもり』は別格。物語が大晦日のパーティを軸としていることから、特にドイツ語圏の歌劇場では、年末年始の定番レパートリーとなっています。

#### 【2】ウィнна・オペレッタの最高傑作

まずウィнна・ワルツでおなじみのJ. シュトラウスの音楽がすばらしく、どの曲も耳当たりがいいので、誰でも気軽に楽しむことができます。それに加えて、登場人物が個性的で飽きさせません。アイゼンシュタイン、ロザリンデ夫妻はもちろんのこと、「こうもり博士」のファルケ、おてんば娘の女中アデーレ、他にも脇役の最後の一人まで、きっと客席を笑わせてくれるでしょう。

#### 【3】舞台の上で、本当にコンサート

第2幕は、ロシアの貴族オルロフスキー公爵のパーティが舞台となっています。このパーティの中で、本当にコンサートをやってしまう演出もよくあります。『こうもり』の物語とは関係のないパーティ内のコンサートです。例えば、有名オペラ歌手を招いてオペラ・アリアを歌うとか、オーケストラがワルツを奏でるとか、バレエが催されることもあります。オペレッタ『こうもり』を観ているのに、他のコンサートも味わえるなんて、得した気分になりますよね。

日 時 / 12月6日(日) 13:30~16:00

場 所 / 久寺家近隣センター 多目的ホール

発表者 / 佐藤 久男 ・ 清水 俊一

参加自由 ・ 入場無料

問い合わせ / 04-7184-3771 佐藤 <http://www.aafc.jp/>